

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
URL <http://www.jaichi.jp> TEL(052)916-2251  
Eメール [info@jaichi.jp](mailto:info@jaichi.jp) FAX(052)916-2308

## 2014. 8. 25 No.1098

発行責任者 林 達也 定価 10円  
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

### 県本部

#### 「初めての賃金制度学習会」

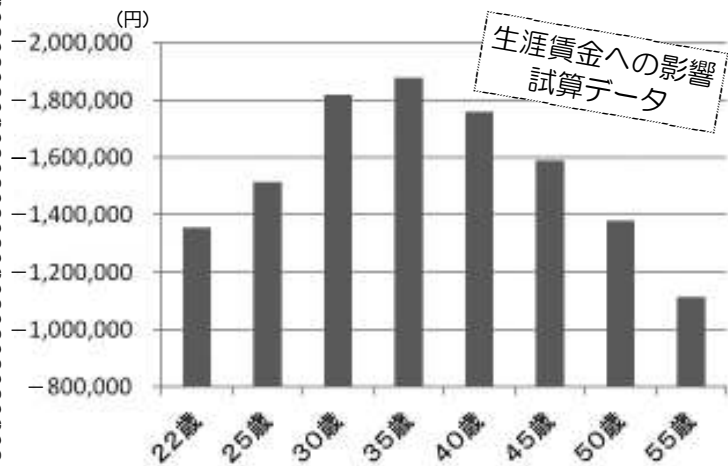
とき 9月6日(土)13:00～  
ところ 県本部

誰でも参加できる学習会です

## 14人勸 生涯賃金マイナス

行(一)現行と15見直し ~愛知県N市のケース~

年齢	削減額	年齢	削減額
22歳	▼1,354,222	40歳	▼1,757,898
25歳	▼1,515,251	45歳	▼1,589,020
30歳	▼1,817,343	50歳	▼1,379,933
35歳	▼1,877,462	55歳	▼1,113,677



2014年人事院勧告が各世代に与える影響を、県内N市の給与体系を元に試算。初任給引き上げ、50歳代後半の最大4%賃下げにより、高齢層だけに大きな負担がかかると思われがちですが、生涯賃金では若年から中堅層にかけてより大きな減額となります。すべての職員の問題です。

# 実質賃下げの勧告は許さない 14人勸を学び怒りを結集させよう

人事院は8月7日、国家公務員賃金についての2014年人事院勧告を行いました。

内容は主に①「月例給・ボーナスともに引き上げ」(月例給平均0.3%と一時金0.15ヶ月引き上げ)、②「俸給表や諸手当のあり方を含めた給与制度の総合的見直し」(来年4月からの俸給表水準平均2%引き下げ、地域手当等の見直し)の2つです。

### 若年層の影響大

自治労連の「すべての労働者の賃上げで景気回復を」のとりくみにより、7年ぶりの賃上げを勝ちと

つたことは大きな成果です。しかし、その引き上げは非常にわずかなものであり、今年4月からの消費税増税による物価上昇にも追いついていません。さらに「給与制度の総合的見直し」による、来年4月からの平均2%引き下げにより、実際には生涯賃金で見ると大幅な「賃下げ」となる不当な勧告です。

若年層の影響大。県本部は人事院勧告を受けて8月16日、書記長・賃金担当者会議を行い、15単組の代表18人が参加しました。

はじめに伊藤英一・賃金調査部長が不当な14人勸について説明。モデルケースを元に削減額を算出し、「実際に自分に当てはめて理解し、一人ひとりの怒りを組織しよう」と訴え。その上で、①人勧内容をニュース等で組合員に

知らせる、②各職場で人勧学習会を開き、怒りと要求を結集する、など具体的なとりくみを提起しました。

参加者からは「若い世代は『下がない』という感覚がある。生涯賃金でどれだけ下がるのか示すことが大事」(名水労)、「俸給表の引き下げは若い人ほど影響が大きい。具体的な金額を各自治体で出さなければ」(西尾市職)、「新聞で見た『賃上げ』とまるで違う内容。公務が下がれば民間も下がる悪循環をくい止めなければ」(なごや介護)など積極的な意見があいつぎました。

犬山市職労の日比野書記次長は「職場で人勧内容を把握する人は少なく、賃下げ」という感覚はない。見せかけの賃上げ、実際は賃下げという矛盾は許せ

ない。役員が学び、組合員に知らせていくことが大切」と語ってくれました。

犬山市職労の日比野書記次長は「職場で人勧内容を把握する人は少なく、賃下げ」という感覚はない。見せかけの賃上げ、実際は賃下げという矛盾は許せ



書記長・賃金担当者会議で秋の賃金闘争方針について議論

## 代償機関の役割果たせ

### 人事院勧告説明会で怒りが噴出

8月12日、名古屋合同庁舎で人事院勧告説明会が開催されました。



すべての公務労働者の怒りを代弁

勧告説明後の質疑応答で「できる限りのことはした」とする人事院に対し、「地域手当の格差は問題。各自治体で働く労働者にとっては受け入れがたい」

「労働者の方を向かず、政府の意向ばかり反映させている。労働基本権制約の代償機関ではない」と、すべての公務労働者の怒りを参加者が代弁。労働実態に合わせた賃金体系、手当、雇用を求めました。



労働局の入る名古屋合同庁舎前で座り込み行動を実施

# 愛知の最賃 800円へ

大增税と物価上昇に届かず

愛知地方最低賃金審議会は8月5日、県の1時間あたりの最低賃金を20円引き上げ、800円とする答申を行いました。この金額では消費税増税、物価上昇にも追いついていません。労働者のくらしはますます厳しくなるばかりです。

8月21日、愛知地方最低賃金審議会が開催に合わせ、愛知労連は「最賃1000円」を求める早朝宣伝、労働局前での座り込み行動を実施。自治労連や生協労働など多くの仲間が集まりました。

「800円答申の撤回を」と求めるピラ配布とマイク宣伝行動。さらに労働局へと入る審議委員

に対して、メッセージを届けようと「こんな賃金じゃ暮らせない」「時給1000円でも年収は210万円」と書かれた横断幕を入り口前に掲げてアピールしました。

その後、最賃審議会で愛労連が事前に提出していた「最賃改定に関する異議申出書」について審議。「物価上昇を働く者の生活を考慮し、30円の引き上げがなければこれまでの水準を維持できない。800円の答申を破棄するよう」求めた申し出に対しては認められませんでした。

今後も賃金底上げによる全ての労働者の賃上げをめざす運動が重要です。

# 核のない平和で公正な世界へ

## 原水爆禁止2014年世界大会

「核兵器のない平和で公正な世界のために」を掲げて、原水爆禁止2014年世界大会が8月2日〜9日にかけて、広島と長崎で開催されました。自治労連愛知県本部からは、名水労をはじめとする7人の仲間が広島大会に参加しました。

4日に広島県立総合体育館で開催された開会総会では全国から集まった6500人を前に、国際会議宣言起草委員長の富田宏治関西学院大学教授が主催者報告。「全ての国、国民、市民社会、草の根運動が、今こそ決断と勇気を持って行動に立ち上がる」と核根絶に向けた運動の展開を訴えました。



広島県立総合体育館で開催された開会総会に集まる6500人

5日は17分科会とフォーラムが開催され、第6分科会「被ばく体験の継承と実相普及」では平均年齢79歳を超える日本、ロシア、韓国の被ばく者・核被害者が「当時11歳だった自分と8歳の妹は、原爆により孤児となり極貧生活を強いられた」「広島で被ばく後に帰国し、差別を受けた」と自身の体験を悲しみを込めて訴え。参加者から「戦争で国民は守られない、の言葉が胸に強く響いた」など感想・意見が活発に交わされました。

広島最終日の6日、平和記念公園で平和記念式典が開催されました。原爆が投下された8時15分の黙祷後、各国からのあいさつ、被ばく者の訴えが行われ、最後に核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれる2015年を「核兵器根絶への決定的な転機に」との『広島決議』を採択し、閉会しました。



港職労・学事労から平和を願う千羽鶴が広島へ届けられました

### 2015年はNPT再検討会議

2015年5月にニューヨークで行われるNPT再検討会議への働きかけは重要となります。県本部は会議に向けた要請、代表団の組織を開始します。

### 沖縄で学んだ平和の大切さ

#### 国際交流あいち平和女性の集いで報告

2014国際交流あいち平和女性のつどいが8月11日、女性会館で開催されました。

原水禁世界大会の報告、NPT再検討会議への参加提起などの後、各団体から平和のとりくみが報告されました。



おきプロNEXTの学びを報告

自治労連からは「おきプロNEXT」参加者が「戦争体験者との会話など、自分の目で見て、肌で感じる体験を通して、戦争の悲惨さを実感できた」「自治体職員として平和と何か考える良いきっかけになった」と沖縄での体験を語りました。

## 打って守って白熱の勝負

### 第36回自治労連愛知野球大会

8月3日、名古屋市の名城公園野球場で第36回自治労連愛知野球大会を開催しました。名古屋市職労・名水労・港職労・豊橋市職労・西尾市職・瀬戸市職・犬山市職の7チームがトーナメント形式で対戦し、日々の練習の成果

を發揮しました。試合は打って守っての白熱した接戦が多く、得点シーンや三振を取る度にベンチから元気な声が響きました。決勝にコマを進めたのは港と豊橋チーム。序盤から豊橋が優位に試合を進め、最終回にも

## 「言いたい劇場」小暮りや子



**セット共済** 安く安心

掛金 1820円/月 → 病気入院 5000円/1日

自治労連



優勝した豊橋市職労チーム

### 単組定期大会 役員紹介

- 長久手市職労(7月30日)
  - 執行委員長 芳賀 拓己
  - 副委員長 山田 篤
  - 書記 原 明子
  - 書記次長 水野 高志
  - 書記 木村 仁美
  - 管理職ユニオン(8月2日)
    - 執行委員長 山本 茂樹
    - 書記 矢野 正彦
    - 書記次長 加納 幸久

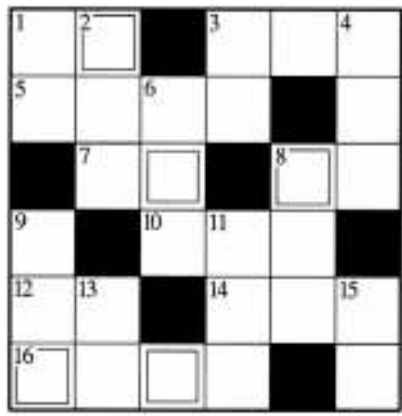
- 豊橋市職労(8月9日)
  - 執行委員長 浦野 芳正
  - 副委員長 山口 晴彦
  - 書記 長坂 圭造
  - 書記次長 加藤 健治
  - 書記 伊藤 勉
  - 書記 高木 大育

- 中水労(8月7日)
  - 執行委員長 三宅 徹
  - 副委員長 白井 淳
  - 書記 川野 道広
  - 書記次長 上村 知由
  - 書記 伊藤 幸雄
- 豊川市職労(8月8日)
  - 執行委員長 大井 宗人
  - 副委員長 浅野みよ子(名古屋市職労)
  - 書記 市江 弥生(清須市職労)
  - 書記次長 伊藤 友伸(豊橋市職労)
  - 書記 伊藤 友美(長久手市職労)
  - 書記 織田 歩美(半田市職)
  - 書記 梶田 良直(春日井市職労)
  - 書記 坂野 恵実(春日井市職労)
  - 書記 鈴木 貴子(瀬戸市職労)
  - 書記 長谷川哲也(学事労)
  - 書記 鷺尾 有美(幸田町職労)

### クイズの当選者

### おたのしみプレゼントつき クロスワードパズル

- 【ヨコのカギ】①〇〇を投げた。叱るにも〇〇加減が難しい ③両校の——斉唱 ⑤副審の対 ⑦〇〇たる目的 ⑧〇〇霧中 ⑩鶏冠 ⑫奈良公園に多くいる ⑭付け足して書き加える ⑮火事場に大勢の——が集まる



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう。

- 「タテのカギ」①差し向かい。〇〇で勝負 ②植物が分泌するやに類 ③〇〇をつめて働く ④行きと—— ⑥日本の——は東京 ⑧——が解けて仲直り ⑨——の不養生 ⑩薩長の薩とは ⑬〇〇と喧嘩は江戸の華 ⑮白の相棒

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード(1000円分)を贈呈します。〒462-0845

名古屋北區柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは9月30日必着。ハガキに近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。